



塩釜地区防災安全協会

# 会報

第29号



復元工事中の多賀城南門

令和6年度 塩釜地区統一防火標語

こわいのは 消したはずとの 思いこみ

松島町立松島第一小学校 4年生 さとう たつみ 佐藤 樹弥 さん

# INDEX

## 目次

■ ごあいさつ	
塩釜地区防災安全協会 会長 阿部 建夫 .....	1
塩釜地区消防事務組合 消防長 小野 秀一 .....	1
■ 祝 受賞おめでとうございます!! .....	2
■ 移動研修会に参加して	
東北電力株式会社 仙台火力発電所 荻野 尚 .....	3
■ 防災講演会を聴講して	
カメイ物流サービス株式会社 我妻 龍昇 .....	4
■ 消防訓練視察研修会に参加して	
多賀城東幼稚園・あずま保育園 庄司 千佳 .....	5
■ 新年研修会に参加して	
医療法人友仁会 松島病院 郡山 美佐子 .....	6
東日本旅客鉄道株式会社 新幹線総合車両センター 飯塚 幸平 .....	7
■ 第40回消火技術コンクールの結果 .....	8
■ 防火防災教室開催 .....	9
■ 令和5年の火災概要・市町別火災発生状況 令和5年の救急概要・市町別救急出場状況 .....	10
■ 試験・講習等のお知らせ .....	11
■ 令和6年度塩釜地区統一防火標語入選作品 .....	12
■ 入会事業所のご紹介	
● 防災DVDの貸出しについて	
● 編集後記 .....	12

### 【表紙写真】 復元工事中の多賀城南門

多賀城市では、多賀城創建1300年にあたる令和6年(2024)の公開に向け、多賀城南門の復元工事を実施しています。公開の際はぜひ一度ご鑑賞ください。(写真提供/多賀城市)

### 【塩釜地区防災安全協会】

平成7年5月、塩釜地区防火管理者協議会と塩釜地区危険物安全協会が合併し現在に至る。会員相互の防火思想の普及高揚や防災業務関係者に対する教育訓練指導等により、各事業所の発展と会員相互の融和親睦を図り、社会公共の福祉の増進に寄与することを目的とする。

#### ● 会員事業所数(令和6年2月末日時点)

延べ620事業所(防火管理部会410事業所・危険物保安部会210事業所)



# 令和6(2024)年ごあいさつ



塩釜地区防災安全協会

会長 阿部 建夫

令和六年の新春を迎え、會員の皆様にご挨拶を申し上げます。

皆様には、平素より当協会の事業運営に格別なるご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。はじめに、元日に発生した令和六年能登半島地震により亡くなられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様の方々に心よりお見舞いを申し上げます。また、被災地の一刻も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスが五類感染症になり、これまでの様々な制約が緩和され、活発な経済活動や日常生活が戻ってきました。当協会におきましても、今年度計画していた全ての事業を実施することができ、防火思想の普及と高揚と會員相互の融和親睦に大きな成果を上げることができました。その一方で長期にわたる記録的な猛暑、線状降水帯による集中豪雨などの気候変動に翻弄された一年でもありました。

塩釜地区管内におきましては、特に大きな災害はありませんでしたが、これも常日頃から各事業所の防火管理や危険物保安管理において災害の未然防止にご尽力されている皆様と、防火指導や予防広報に努められている消防当局のおかげであり、心から感謝を申し上げます。

有事の際の被害を最小限にとどめるには、ひとりひとりの防火防災意識の向上が重要であることは言うまでもありません。防火防災力の高い地域社会を目指し、皆様には尚一層の災害対策と消防当局との連携を図っていただきたいと思います。

当協会といたしまして、本年もより一層皆様との意見交換等を密にして事業を推進して参りますので、変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、會員皆様の益々のご健勝とご発展、そして本年が、災害のない平穏な一年でありますことを祈念し、新年のご挨拶といたします。



塩釜地区消防事務組合

消防長 小野 秀一

令和六年の新春を迎え、塩釜地区防災安全協会會員の皆様にご挨拶を申し上げます。

まずは、令和六年能登半島地震で亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様の方々に心よりお見舞い申し上げます。一刻も早い被災地の復旧を心よりお祈り申し上げます。

平素から消防行政の推進につきまして、多大なるご支援ご協力を賜りますとともに、各事業所におきまして防火管理業務の推進や危険物の保安管理に努められ、地域の安全に寄与されていますことに心から御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、世界的な流行となった新型コロナウイルス感染症が五類感染症に移行しましたが、消防行政としてはいまだ予断を許さない状況であります。災害の様態は大規模・複雑多様化が進み、自然災害が多発し、全国各地で甚大な被害が発生しました。当組合

管内における火災件数は46件であり、その約6割が建物火災で、そのうち住宅火災が約半数を占めています。また、救急出場件数は10,643件で一昨年の過去最多件数を上回りました。

このような中、当組合といたしましては、住民の皆様への安全安心のため、消防防災体制の充実強化に一層努めてまいりますので、會員の皆様には、引き続き防火防災業務を通じて、地域の安全確保のためにご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、今後の平穏を願いますとともに、塩釜地区防災安全協会の益々のご発展と會員皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。



# 祝 受賞おめでとうございます!!

令和5年度定期総会において、頃の防火管理又は危険物保安に関して功績が認められた会員事業所及び個人の皆様に対し、会長より表彰状と楯が贈られました。

また、同じく永年にわたる危険物施設の安全管理や危険物の安全な取り扱い作業への功労が認められ、会員事業所が宮城県知事より優良危険物取扱事業所表彰、(二社)宮城県危険物安全協会連合会長より優良事業所表彰をそれぞれ受賞されました。受賞されました事業所そして個人の皆様おめでとうございます!



## 塩釜地区防災安全協会表彰

◎令和5年5月23日(火)  
(塩釜地区防災安全協会定期総会)  
於…ホテルグランドパレス塩釜

### ◆優良事業所表彰 12事業所 【防火管理部会】 6事業所

- 塩竈市
  - 永沼外科整形外科医院
  - 慈雲寺
- 多賀城市
- 多賀城市大代地区公民館
- 松島町
  - 白寿殿 松島
  - 七ヶ浜町
- 株式会社 旅館 麻屋
- 利府町
- 白寿殿 利府駅前

### 【危険物保安部会】 6事業所

- 塩竈市
  - 東北ドック鉄工株式会社
  - 佐藤貢商店
- 多賀城市
- アサガミ株式会社 仙台支店
- 松島町
  - 有限会社 菅野石油店
  - 七ヶ浜町
  - よつちゃん食品工業株式会社
- 仙台工場
- 利府町
  - 株式会社 東日本宇佐美
  - 利府バイパス給油所

### ◆優良個人表彰 3名 【防火管理部会】 2名



### 【危険物保安部会】 1名

- 多賀城市
  - 社会福祉法人あゆみ会
- 浮島保育所
- 石垣 裕美
- 藤野 好子
- 藤野整形外科
- 多賀城市
  - ホテルキャッツスルプラザ多賀城
- 大泉 運三郎

### 宮城県知事表彰 (危険物保安関係功労者等表彰)

◎令和5年6月21日(水)  
(宮城県危険物安全協会連合会危険物安全大会)  
於…ホテル白萩

### ◆優良危険物取扱事業所表彰

- 松島町
  - 株式会社 ジェイエイ仙台松島給油所

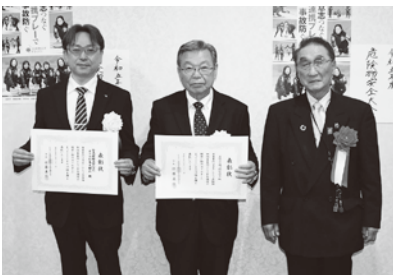
### (一社) 宮城県危険物安全協会連合会会長表彰

◎令和5年6月21日(水)  
(宮城県危険物安全協会連合会危険物安全大会)  
於…ホテル白萩

### ◆優良事業所表彰

- 塩竈市
  - 株式会社 玉田商店
  - ニユー新浜給油所
- 多賀城市
- 有限会社 橋沼燃料商会
- 松島町
  - 松島国際観光株式会社
  - ホテル 松島大観荘

※出席できなかった受賞事業所及び個人の皆様には、当日会長より表彰の伝達をさせていただきます。



# 移動研修会に参加して

東北電力株式会社 仙台火力発電所 荻野 尚

令和5年度の移動研修会は、9月28日（木）に日帰りで、宮城県黒川郡大和町にある「トヨタ自動車東日本株式会社宮城大衡工場」様を視察いたしました。阿部会長をはじめとした役員と会員の皆様、また引地事務局長ほか事務局の皆様、総勢25名が参加しました。

酷暑も終わり秋の気配をようやく感じさせる気候の中、JR本塩釜駅アクトゲート口からバスにて出発し、宮城大衡工場近くの万葉茶屋で昼食



後、「トヨタ自動車東日本株式会社宮城大衡工場」様に到着しました。

本工場は「シエンタ」や「ヤリスクロス」などのコンパクトカーを製造する事業所で、企画～開発～生産が一貫通貫に行われており、生産では「プレス」→「溶接」→「塗装」→「組立」→「検査」の工程で車が製造されています。

はじめに会社概要の説明を受けた後、組立工程と溶接工程、PRホールを2班に分かれて見学しました。この中で特に印象的だったのは、組立工程で主に部品運搬で用いられている機械式の「からくり」と言われる仕掛けです。従業員の方が自ら考案・制作され、電気などの動力は直接使わず、また安易な電動化や電子制御化に頼らず、重力や歯車、てこの原理などを用いてその組立工程に必要な部品を、必要な場所に、必要な向きで置かれるように「からくり」を作ることで作業の効率化や負担軽減が図られていました。これらの取り組みなどによって車が作られており、ものづくりのすごさの一端を垣間見ることができ大変勉強になりました。



また、見学後の質疑応答では防災対策の取り組み状況について説明を受け、地震で工場建屋から避難する際、雨天だった場合のために屋根のある避難場所の確保や非常食の確保、また家族と連絡が取れる様に通信手段の確保などが行われているとの紹介がありました。今後の防災対策の参考にさせていただきたいと思っております。更に、東北地方で豪雨などの災害が発生した場合など、

地域社会との関りの一環として復旧支援活動を行っているとのこと、素晴らしい取り組みだと感じました。決して簡単にはまねのできない取り組みだと思います。今回初めて移動研修会に参加させていただき、なかなか見学が難しい事業所を視察することができて、大変有意義な研修になりました。この場をお借りしまして塩釜地区防災安全協会の皆様方に感謝申し上げます。ありがとうございます。



# 防災講演会を聴講して

カメイ物流サービス株式会社 我妻龍昇



令和5年11月2日(木)七ヶ浜国際村にて防災講演会が開催されました。

講師である東北大学災害科学国際研究所准教授佐藤翔輔氏の講演が始まり、地元で震災被災者でもあり近くに見覚えの顔もちらほらある中、当時の記憶が蘇り震災当時の事を重ねながら聞き入りました。

東日本大震災で避難が遅れた理由の一つに「津波の情報が届かなかつた」とありましたが、確かに当日は

津波の第一波で沿岸に設置されたカメラが破壊され、情報が錯綜していて、メディアでは被害がどの程度であるか明確に分らない状態であり、目的地の女川町を目指して石巻市の蛇田地区辺りまで向かってしまいました。幸いな事に津波等見る事なく自宅に戻る事ができましたが、燃え盛る製油所の明かりに不安を覚えながら眠りに就き、被害の甚大さを知ったのは翌日の朝でした。

次に「渋滞があった」ということでしたが、一時期父が行方不明になり、最後に連絡が取れた場所は名取市の閑上地区であった為、震災次の日に母と二人でまずは名取市役所へ行き情報を集め避難場所になっていた。そこで気仙沼市から車で避難してきたという方と知り合い話を聞いたところ、主要道路へ続く道は渋滞で身動きが取れず、抜け出せない車は次々



と津波に飲み込まれ、助けられるだけ自分の車へ乗せ何とか逃げ切ったのですが、何度も助けられなかった人達の顔が浮かんでどうしようもないと言っていたのを今でも覚えています。車で避難した方もやはり情報が届かず、車を捨てて避難するという選択肢はなかったことでしょう。

そして私が小学生の低学年だった頃、基本があつてこそその応用だとしてこく教えてくれる先生がいました。その先生は授業時間以外でもそれが口癖の様に言っていたので約40年前の話になりますが、私もすっかり身についてしまい、これまで生きてきた中でとても役にたつ教えました。

その恩師というのが、学校での対応で紹介されていた南三陸町立戸倉小学校の当時校長麻生川敦先生でした。麻生川先生は基本があつてこそその応用で、臨機応変に大勢の児童の命を救ったのでしょうか。なんとも懐かしい気持ちで溢れるなか講演会が終わり、避難訓練形式で解散という流れになり、そこでもどこかで見た事のあるとても懐かしい顔がありました。40数年前に私を産んでくれた人に似ていると感じ、よくよく見ると母でした。

